

RAD-PB01S-W
(03-0962)



安全にお使いいただくために

電気製品は正しく取り扱うことによって、安全にお使いいただけます。間違った使い方は火災や感電による人身事故につながる場合があります。ご使用前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

●乾電池は、充電しない。電池の破裂、液もれにより、火災
けがの原因となります。

●車、バイク、自転車の運転中はイヤホンでの使用や、細かい操作をしない。歩行中に聞く場合、周囲の交通に十分注意する。交通事故などの原因となります。

●屋外使用中に雷が鳴り出したら、すぐにイヤホンをして使用を中止する。落雷の原因となります。

●湿気やほこりの多い所、油煙や湯気のあたる所には置かない。故障の原因となります。

●窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる所、暖房器具のそばなど、異常に高温になる所に置かない。
故障及び火災の原因となります。

●指定以外の電池は使用しない。新しい電池と古い電池を混せて使用しない。種類の異なる電池（例：アルカリ・マンガン電池）をいっしょに使用しない。使い終わった電池は必ず出す。長期間使用しない時も電池は取り出す。電池が破裂・液もれにより火災・けが、周囲汚損の原因となります。

●電池は、プラス⊕とマイナス⊖の表示とおりに入れる。
電池の破裂、液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因
なります。

●イヤホン使用时、耳を刺激する大音量で聴かない。
聴力障害などの原因となります。

現 象	点検方法
音が出ない	・音量が最小になっていないか確認 ・乾電池の残量を確認(残量がない場合は電池を交換) ・イヤホン端子にイヤホンプラグを接続していないことを確認
雑音が入る	・携帯電話、テレビ、蛍光灯、LEDの近くで使用していないことを確認

受信周波数	AM 530-1605kHz	FM 76-108MHz
電 源	DC3V 単4形乾電池×2本 (別売)	
電池 持続時間	AM放送受信時：約100時間 FM放送受信時：約70時間 集音マイク使用時：約120時間 (アルカリ乾電池新品使用、音量中程度として)	
外形寸法	幅53×高さ93×奥行21mm (突起物含まず)	
質 量	約56g (乾電池含まず)	
付 属 品	両耳イヤホン (集音マイク付)、イヤークリップ (S/M/L) 各2個、 収納ポーチ、取扱説明書、保証書	

※本製品は、医療機器認定を取得した補聴器ではありません。
※改良などのため、仕様および外観は予告なく変更する場合があります。

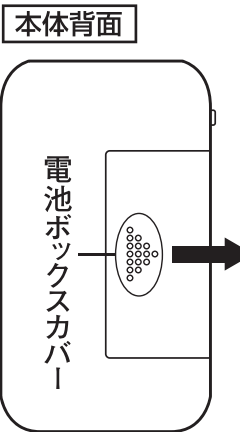
▼両耳イヤホン(集音マイク付)、イヤーチップが古くなりましたら、新しく交換用イヤホンセットをお求めください。

集音器付ラジオ用イヤホンセット ERA-327S-W/品番03-3198(別売)


株式会社 オーム電機
 〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ ●電話無料 ●FAX・IP・公衆電話からは 0120-963-006 098-2972-2735	
修理に関するご依頼は 修理ご相談センター へ ●電話受付 048-992-3970 平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます	●電話受付 平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

- ① 本体背面の電池ボックスカバーを横にスライドさせて開きます(右図参照)。
- ② 電池ボックスに、単4形乾電池2本(別売)を入れます。
電池ボックス内に表示されているプラス $\oplus$ 、マイナス $\ominus$ の極性とおりに正しく入れてください。
なお、電池を入れる際は必ず $\ominus$ 側から先に装着してください。
- ③ 電池ボックスカバーを①と逆の手順で閉めます。



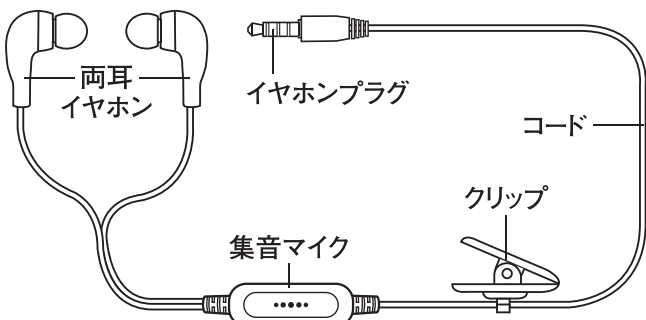
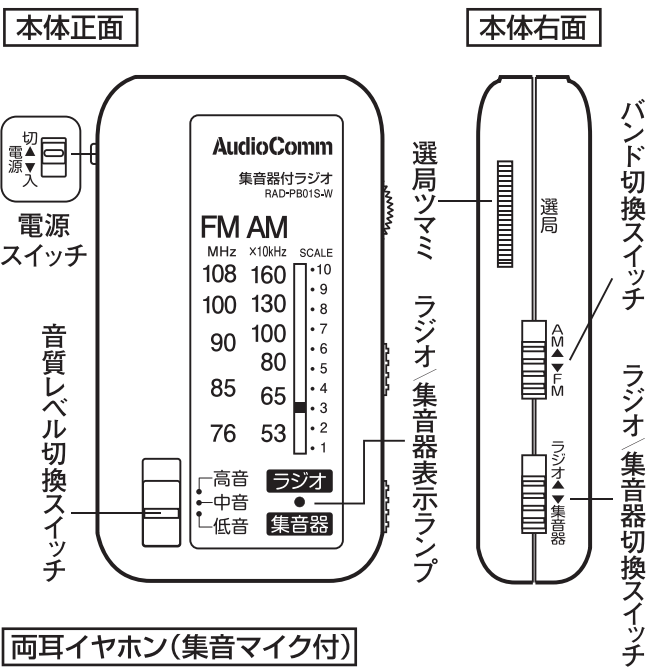
アルカリ乾電池のご使用をお薦めします。マンガン乾電池、充電式電池では使用可能時間が短くなります。

やわらかな布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤や石けん水に浸した布を固く絞って拭き取り、やわらかな乾いた布で仕上げてください。

なお、シンナー、ベンジンなどの揮発性のもので拭いたりしないでください。変色・変形、または破損の原因になります。

本体上面

イヤホン端子 音量ツマミ



本製品に付属の両耳イヤホンは、耳穴に密閉して装着する
 カナル式イヤホンとなります。周辺の音の遮音性に優れ、
 ラジオの音や集音された音を集中して聴くことができます。
 なお、イヤチップは耳穴へのフィット感を高めるためS/M/L
 3サイズが付属しています。3サイズの
 それぞれをお試しになって、ご自身の
 耳穴に一番合うサイズのイヤーチップ
 に交換してご使用ください(右図参照)。
 ※本製品の両耳イヤホンはモノラル再生
 ですので、左右関係なく耳に装着できます。
 ※本製品はイヤホン専用です。スピーカーは搭載しておりません。

- ① イヤホンプラグを本体のイヤホン端子に差込み、両耳イヤホンに装着します（両耳イヤホンについて参照）。
- ② 音量ツマミを回して音量を最小にします。
- ③ ラジオ/集音器切換スイッチで「ラジオ」を選択します。
- ④ 電源スイッチを「入」にして電源を入れます（ラジオ/集音器表示ランプが黄緑色に点灯）
- ⑤ 音量ツマミを回して音量を調節します。
- ⑥ バンド切換スイッチで「AM」か「FM」を選択します。

- ⑦ 選局ツマミを回して、お聴きになる放送局の周波数に合わせます。
- ⑧ 音質レベル切換スイッチで、「高音」「中音」「低音」の中から一番聴きとりやすい音質を選択をします。
- ⑨ ラジオのご使用を終える時は、電源スイッチを「切」にします(ラジオ/集音器表示ランプが消灯)。

※本機はアナログ選局のため、使用状況により周波数の表示が受信している周波数から多少ずれる場合がありますのでご了承ください。

※本機はFM周波数帯域が76～108MHzまでであるため、ワイドFM（FM補完放送）に対応しています。ワイドFM（FM補完放送）とは、AM放送局の放送区域において難聴対策や災害対策のためにFMの90.1～94.9MHz周波数帯域を用いて補完的にAM番組を放送することです。ワイドFM（FM補完放送）の開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

■**AM放送を聞くととき**
本体を放送が一番良く受信できる方向に向けてください。

■**FM放送を聞くととき**
イヤホンコードがFMアンテナを兼用していますので、コードを放送が一番良く受信できる方向に向けてください。

■**電車や建物の中で聞くとときは**
電波が弱くなると、聞こえにくくなります。本体を窓に近づけてお使いください。尚、トンネルや地下鉄の中、地下街などでは、電波状態が悪く聞こえないことがあります。

■**音声について**
・本製品はモノラル受信機です。ステレオ音声にはなりません。
・本製品はTV放送は受信できません。

本製品はラジオの他に集音器としての機能を持っています。
ラジオを聴くようなスタイルで集音できるため、目立たずにご
使用になれます。

- ① イヤホンプラグを本体のイヤホンジャックに差込み、両耳イヤホンを耳に装着します(両耳イヤホンについて参照)。
- ② 音量ツマミを回して音量を最小にします。
- ③ ラジオ/集音器切換スイッチで「集音器」を選択します。
- ④ 電源スイッチを「入」にして電源を入ると集音モードになります(ラジオ/集音器表示ランプがオレンジ色に点灯)。
- ⑤ 両耳イヤホンのコード上の集音マイクを集音する方向に向けて、同じくコード上のクリップで衣服などに固定します。

⑥ 音量ツマミを回して音量を調節します。

⑦ 音質レベル切換スイッチで、「高音」「中音」「低音」の中から一番聴きとりやすい音質を選択をします。

※聴きとりたい音に適した音質レベルは、人の声、音楽、周囲の環境によって変わります。周囲の環境に応じて3つの音質レベルをお試しになり、最も聴き取りやすい音質レベルをお選びください。

⑧ 集音器のご使用を終える時は、電源スイッチを「切」にします(ラジオ/集音器表示ランプが消灯)。

※本製品には、突然の大きな音を自動的に調整する機能は付いておりません。